

## 非核、平和都市宣言に関する決議

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、核又は軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島・長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、全世界の人々に強く訴えるものである。

ここに我々は、戦後60年を迎えた今日、未だ核兵器の拡散が懸念される現状を重く受け止め、日本国憲法に掲げられた恒久の理念を日常の市民生活の中に生かし、子々孫々に継承するために、非核、平和都市たることを厳粛に宣言するものである。

1. 出雲市は、非核三原則（作らず、持たず、持ち込ませず）の完全な遵守を求める。
1. 出雲市は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。
1. 出雲市は、核兵器及び核兵器積載の疑いのあるものの出雲市への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

以上、決議する。

平成18年3月17日

出雲市議会